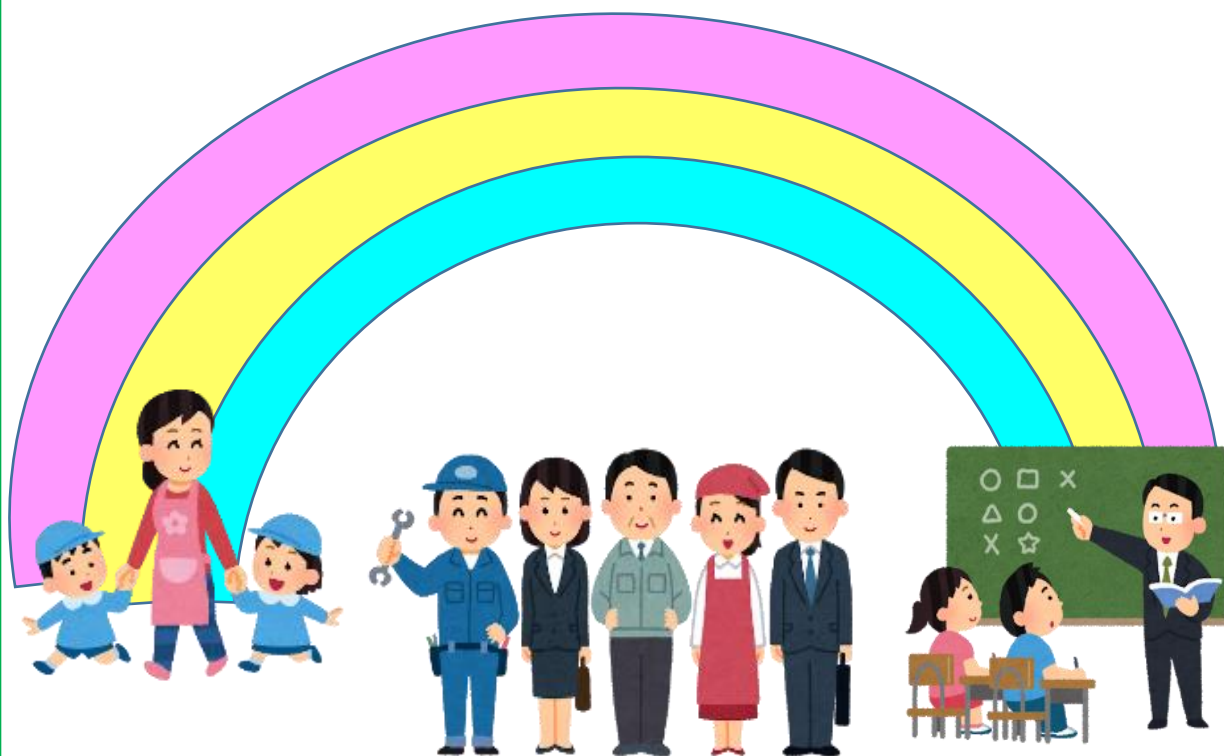


サポートファイル

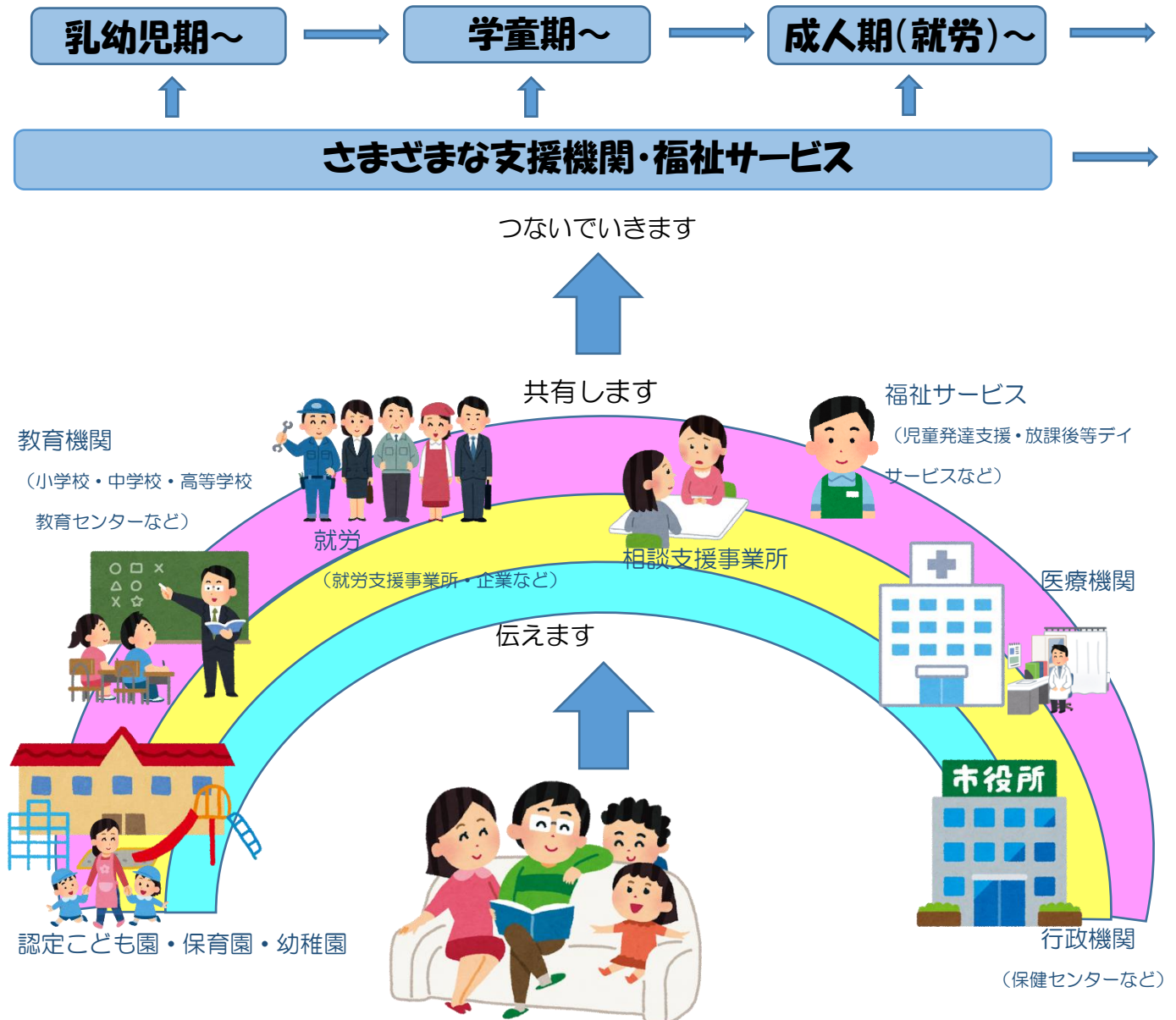
(書き方の例)



龍ヶ崎市

サポートファイルとは

一人一人のお子さんについて、乳幼児から成人まで、その個性や特徴に応じた一貫した支援のために保護者・本人と関係者をつなぐものです。



記録しましょう・・・必要なところから、記入できる範囲で記録しましょう。

活用しましょう・・・初めての機関で相談を受ける時には、このファイルを持参しましょう。

保管しましょう・・・お子さんの成長、支援の記録です。家庭内で気付いたことを書いたメモや写真を貼ったり、支援計画等と一緒に保管しましょう。

工夫しましょう・・・ポケット付きのバインダーを利用すると、ポケットに母子健康手帳や名刺などを入れたり、自分なりに見出しを使うことで教育機関や事業所などに分けたファイルを作ることができます。

管理しましょう・・・サポートファイルはとても重要な個人情報が含まれているので、保護者が管理してください。利用したほとんどの機関がお子さんの記録や検査結果を永年保存していません。入試や学校で特別な配慮を受ける場合、年金を請求する場合、18歳を過ぎてから療育手帳を申請する場合など、このファイルが役に立ちます。

サポートファイル項目・内容

項 目	頁	内 容
表紙		サポートファイル表紙
サポートファイルとは	P1	サポートファイルについて
サポートファイル項目・内容	P2～P3	項目・内容
プロフィール	P4～P5	本人・家族の情報，生育歴・保育歴・学校等在籍歴
発達・知能検査履歴	P6	発達・知能検査履歴の記録
保健・福祉・医療的関わりの記録	P7	健診・相談・受診・治療・訓練の記録
関わり方や支援に関する情報について	P8～P15	コミュニケーションのとり方について(1)(2) パニックが起こった時の対処法などについて 感覚面での特性やこだわりについて 日課の変更等に関する情報について 人との関わりや集団参加に関する情報について 飲食に関する情報について 遊び・排泄などに関する情報について
行動特性などに関する情報について	P16～19	不注意・多動性・衝動性などの気になる行動について(1)(2) 読むこと・書くことについて 聞くことについて
乳児期	P20～P22	現在の状況，保護者としての願い 対人関係，生活のリズム(乳児期)，医療的関わり，支援機関，興味・関心のあるもの・こと(遊びなど)，支援するときに配慮してほしいこと，乳児期の記録
幼児期	P23～P27	現在の状況，保護者としての願い 対人関係，生活のリズム(幼児期)，医療的関わり，支援機関，興味・関心のあるもの・こと(遊びなど)，支援するときに配慮してほしいこと，幼児期の記録，個別の教育支援計画(幼児期用)，支援内容と支援計画について
小学校期	P28～P32	現在の状況，保護者としての願い 対人関係，生活のリズム(小学校期)，医療的関わり，支援機関，興味・関心のあるもの・こと(遊びなど)，支援するときに配慮してほしいこと，小学校期の記録，個別の教育支援計画(小学校期用)，支援内容と支援計画について

項 目	頁	内 容
中学校期	P33~P37	現在の状況，保護者としての願い 対人関係，生活のリズム（中学校期），医療的 関わり，支援機関，興味・関心のあるもの・こ と（遊びなど），支援するときに配慮してほし いこと，中学校期の記録，個別の教育支援計画 （中学校期用），支援内容と支援計画について
高等学校期	P38~P43	現在の状況，保護者・本人の願い 対人関係，生活のリズム（高等学校期），医療 的関わり，支援機関，興味・関心のあるもの・ こと（遊びなど），支援するときに配慮してほ しいこと，高等学校期の記録，就労（体験）の 記録，個別の教育支援計画（高等学校期用）， 支援内容と支援計画について
青年期～成人期（訓練・就労）	P44~P50	現在の状況，本人の願い・保護者の願い 対人関係，生活のリズム（青年期～成人期【訓 練・就労】），医療的関わり，支援機関，興味・ 関心のあるもの・こと（遊びなど），支援する ときに配慮してほしいこと，青年期～成人期の 記録（訓練・就労），青年期～成人期の記録（訓 練・就労），訓練・就労の記録，個別の支援計 画（青年期～成人期【訓練・就労】），支援内容 と支援計画について
問い合わせ先	P51	問い合わせ先機関名
裏表紙		サポートファイル裏表紙

プロフィール

しめい 氏名		性別	男・女	生年月日		愛称	
-----------	--	----	-----	------	--	----	--

住所	〒						
家族	氏名	続柄	同居区分	連絡先	①	氏名	
			同居・別居			続柄	
			同居・別居			連絡先	
			同居・別居		②	氏名	
			同居・別居			続柄	
			同居・別居			連絡先	

診断名		診断機関		医師名		診断年月日			
手帳	種類		区分	取得年月日	特記すべきこと				
特別児童 扶養手当	等級	取得年月日	喪失感	その他	その他の手当・サービス				
	級								
	級								
支援区分	区分	認定有効期間		年	月	日～	年	月	日

生育歴	妊婦期	異常 無・有 () その他 ()								
	出生期	在胎週数 (週) 出生時体重 (g) 出生場所 () 分娩異常 無・有 () 新生児期の経過 ()								
	発達状況	首が座る (歳 月) ハイハイをする (歳 月) ひとり歩き (歳 月) 意味のある言葉が出る (歳 月) その他 ()								
かかりつけ医										
保育歴	家庭で主に保育をした人		父 母 祖父 祖母 その他 ()							
	保育所・幼稚園 認定こども園等	施設名	①				歳	月～	歳	月
			②				歳	月～	歳	月
			③				歳	月～	歳	月

学 校 等 在 籍 歴			
	学年等	学 校 名	組・学級・その他
小学校 (小学部)	1年	学校	組 学級
	2年	学校	組 学級
	3年	学校	組 学級
	4年	学校	組 学級
	5年	学校	組 学級
	6年	学校	組 学級
中学校 (中学部)	1年	学校	組 学級
	2年	学校	組 学級
	3年	学校	組 学級
高等学校 高等部 専門学校 大学 その他			

作成日 年 月 日

作成者 印

★ 発達・知能検査履歴

実施日	検査名・実施者	結果
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	
年 月 日 (歳 ヲ月)	検査名 実施機関 (実施者)	

保健・福祉・医療的関わりの記録

年齢または日付	記 録	有効な手立て (○) 失敗した手立て (△)
○歳○ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> • 児童発達支援事業所○○に通園開始 • 友達との遊びの中でルールが守れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遊びの内容, 方法などを1つ1つ説明した。 ○ 「かわりばんこ遊び」の方法を教えた。待つことが出来るようになってきた。

【記録】 相談・治療・訓練・診断が開始できた時に、記入しましょう。

【手立て】 その時の有効な手立て (○), 失敗した手立て (△) 等がわかればお書きください。

◆関わり方や支援に関する情報について◆

コミュニケーションのとり方について（１）

（支援する人・関わる人 → 本人）

・・・本人の理解の仕方や本人への伝え方

<p>言葉やジェスチャー等の理解の仕方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な単語や動詞は、ある程度理解しているので、ジェスチャーを加えると伝わりやすい。 ・「本を片付けて」ではなく、「本を白いかごに入れてね」など指示は具体的にするとよい。
<p>何かして欲しい時の言葉かけなど伝達の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉かけとともに、してほしいことの絵カードを示すとより理解しやすい。
<p>何かをやめさせたい時の言葉かけなどの伝達の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉とともに「おわり」の意味の手話をすると自分で「おわり、おわり」といいながらやめる。
<p>注意を引く方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな料理の本などを見せる。
<p>その他</p>	

コミュニケーションのとり方について（2）

（本人 → 支援する人・関わる人）

・・・本人の表現の仕方

言葉の状況	<ul style="list-style-type: none">・ほとんど単語・動詞のみを話し、伝えようとする。「いや」と拒否したり「先生、トイレ」と2, 3語文で伝えることができます。
何かしてもらいたい時の表現方法	<ul style="list-style-type: none">・両手を合わせて「お願い」「ください」などの動作をする。
指示された事が嫌な時の表現方法	<ul style="list-style-type: none">・「いや、いや」と何回も言う。・手で×印を表したりする。
注意を引こうとした時の表現方法	<ul style="list-style-type: none">・手をかむ。・物を投げる（靴を投げることが多い）
その他	

パニックが起こったときの対処方法などについて

パニックが 起こる	きっかけ	<ul style="list-style-type: none"> • 一日の予定が急に変わる。 • 自分の着たい服が着られない。 • オートバイの音
	起こりやすい 状況やきざし	<ul style="list-style-type: none"> • 自分のやりたいことが、予定の変更などでできなくなってしまった時、「うー」と小さな声を上げる。
具体的な様子		<ul style="list-style-type: none"> • 頭をたたき、手をかむ。 • さらに興奮すると他の人をたたく。
対処方法など		<ul style="list-style-type: none"> • 少し場を離れたり、一緒に歩いたりすると10分程度で落ち着く。
その他 (未然に防ぐ方法)		<ul style="list-style-type: none"> • 予定の変更がある時は、日ごろ使用しているスケジュールカードなどで変更を示しながら伝える。 • 事前に「～の音がする」と予告するとパニックにならないことが多い。

感覚面での特性やこだわりについて

光、音、においなどのしげきに対する感覚の過敏(又は鈍感)特性	視覚 (光などへの反応)	<ul style="list-style-type: none"> • 光や太陽の方を見ながら手をかざすことがある。
	聴覚 (音などへの反応)	<ul style="list-style-type: none"> • オートバイの音や高い声の人は苦手のように、耳をふさいだりする。
	触覚 (痛みや触られることへの反応)	<ul style="list-style-type: none"> • 髪の毛に触られるのを極端に嫌がる。
	その他	
こだわりについて	物	<ul style="list-style-type: none"> • 料理の本 • ミニカー • トランプ
	行動	<ul style="list-style-type: none"> • 特に机上の物の位置にこだわりがあり、ペンたての位置など、本人なりに納得がいくまで直そうとする。
	その他	

日課の変更等に関する情報について

日課の変更 に対する	反 応	<ul style="list-style-type: none"> ・前日までに変更がわかれば、事前に話しておくことで、ほとんどパニックになることはない。 しかし、その日のスケジュールを聞いた後の変更があると、納得できず、自傷が始まることが多い。
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・たとえば、「公園」に行く予定が「スーパー◎◎」に変更になったときは、変更したスケジュールが理解しやすいように行き先の写真などを用意しておいて、提示をする。
初めての場 所に対する	反 応	<ul style="list-style-type: none"> ・慎重でその場所に入るには時間がかかるが、様子がある程度わかれば、入っていくことができる。
	対処方法	<ul style="list-style-type: none"> ・入れないときは無理をしない。 ・事前に入るまでの道の風景や、その場所の写真などを見せておく。

人との関わりや集団参加に関する情報について

<p>人との関わり方における特徴</p>	<p>〔大人との関わり方〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • 大人で遊んでくれそうな人にはすぐにおんぶをせがむ。
	<p>〔同年代の子どもの関わり方〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • ほとんど関心がない。
<p>集団参加における特徴</p>	<p>〔様子〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • みんなで一緒にグラウンドを走ったりすることは好きである。
	<p>〔気をつけること〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • あまり不機嫌な時は、その場から飛び出してしまうこともあるので一緒に行動する人は、常に見守る配慮が必要。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 非常ベルのボタンを見つけると、走り出し押そうとするので、一緒に行く人は位置を確かめておく。 • エレベーターに乗った後、すべての階のボタンを押そうとするので、エレベーターに乗る時は必ず、一緒にいる人が先に乗る。

飲食に関する情報について

食べ物・飲み物に関する情報	<p>〔好きな食べ物・飲み物〕</p> <ul style="list-style-type: none">・カレーライス, 甘いジュース・炭酸飲料・スナック菓子 (特にポテトチップ)
	<p>〔嫌いな食べ物・飲み物〕</p> <ul style="list-style-type: none">・トマト, ピーマン, たまねぎなど
	<p>〔飲み物について気をつけること〕</p> <ul style="list-style-type: none">・自分で食べたいメニューを選ぶことができる。が, 食べたくないものが (たとえばピーマンなど) 少しでも皿に盛り付けてあると, 皿を投げることもあるので, メニューを注文する時, また料理が出される時に必ず確認する。・特にスナック菓子などは, 自分で量を制限せず, 食べてしまうので, お菓子を渡す前に, 量を決めて渡したほうがよい。

遊び・排泄などに関する情報について

<p>遊びについて</p>	<p>〔好きな遊び〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 追いかっこ ・ トランポリン ・ ドラえもんの本 ・ ビデオを見ること ・ テレビゲームをすること
	<p>〔嫌いな遊び〕</p> <p>特になし</p>
	<p>〔遊びについて気をつけること〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の活動に移る10分前には、今の活動について「あと〇〇分でおわりだよ」と伝えておくと、次の活動にスムーズに移ることができる。 <p>高いところが好きで、階段や鉄棒の支柱の上に立ってしまうことがあるので注意する。</p>
<p>排泄などについて</p>	<p>〔気をつけること〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 排泄はほぼ自立していて失敗はほとんどないが排泄するときにズボンを全部下ろしてしまう。 ・ 洋式トイレで自分でズボンを下ろし座ることができる。 ・ 和式トイレで大便秘はできない。 排便の拭きはまだ不十分のため、支援が必要。

◆ 行動特性などに関する情報について ◆

不注意・多動性・衝動性などの気になる行動について（１）

<p>「不注意」 とみられる行動について（うっかりミスや忘れ物が多いなど）</p>	<p>〔行動の特徴〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すぐに気が散りやすく集中力が持続しない。
	<p>〔気をつけること〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着きがなく，他の場所へ行き始めたらすぐに言葉かけをする。
<p>「多動性」 とみられる行動について（そわそわ・もじもじ座っていることができないなど）</p>	<p>〔行動の特徴〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手や足を動かしたりしてそわそわする。
	<p>〔気をつけること〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穏やかに話しかけ，課題に取り組むよう促す。

- ※「不注意」とは：注意や集中が適切にできない状態をいいます。集中すべきところに集中することができず、目的のある行動がとりにくいことを言います。
- ※「多動性」とは：状況から見ても社会的に不適切で、目的のない行動をとってしまうことを指します。

不注意・多動性・衝動性などの気になる行動について（２）

<p>「衝動性」</p> <p>とみられる行動について（質問が終わる前に答えてしまう，順番待ちができない，遊びの途中で人の邪魔をするなど）</p>	<p>〔行動の特徴〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味のあるものを見つけると，すぐその方向へ走り出すことがある。
	<p>〔気をつけること〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着きがない時は，外に飛び出そうとすることがあるので表情に常に気を配る必要がある。
<p>その他の 「気になる」 行動について</p>	<p>〔行動の特徴〕</p>




衝動性とは：思いついたことや外部からの刺激に対し，反応を抑えることができず，即座に衝動的に反応してしまうことを指します。

読むこと・書くことについて

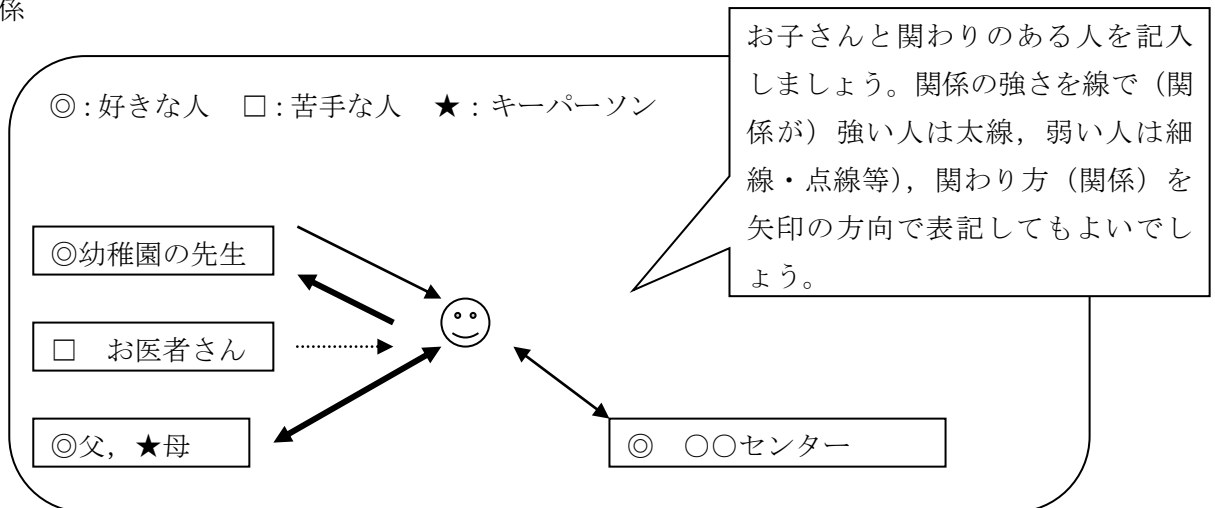
<p>「読むこと」 について</p>	<p>〔「読むこと」に関する特徴〕</p> <ul style="list-style-type: none">• 「さ」と「ち」を読み間違えてしまう。• 文章の中の文字を飛ばして読んでしまう。
	<p>〔気をつけること〕</p> <ul style="list-style-type: none">• ゆっくり字を追いながら読むよう促す。
<p>「書くこと」 について</p>	<p>〔「書くこと」に関する特徴〕</p> <ul style="list-style-type: none">• 板書を写すのが苦手。• 作文で、脱字や助詞の誤用が目立つ。
	<p>〔気をつけること〕</p>

聞くことについて

<p>「聞くこと」 について</p>	<p>〔「聞くこと」に関する特徴〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • 人の話は聞いていない様で聞いている。大人の会話の中で、予定にかかわることなどが出てくると、気になってたずねてくる。
	<p>〔気をつけること〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • あらかじめ予定をしらせておく。
<p>「その他」</p>	<p>〔困った行動など〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外出時に駐車場に停車している自動車の窓ガラスを触りまくる。 • 書店で他の人がみている料理の本を横取りする。
	<p>〔対処方法〕</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外出前に「～をしてはだめだよ」と言っておくと、窓ガラスを触ろうとする時に、注意されても怒らずに手を引っ込めようとする。 • 料理の本のコーナーに行くときは、支援する人は料理の本を読んでいる人の間に立つようにする。

	現在の状況	保護者としての願い
<p>生活習慣 身辺自立</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンを使って食べさせてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンにのせたものを自分の口に運んでほしい。
<p>運動面の発達</p> 		
<p>ことばや対人関係の発達</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・両手の平を出して「ちょうだい」の動作ができる。 ・欲しいものがある時は手を引っ張ってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょうだい」が言えるようになって欲しい。 ・欲しいものを指差しできるようになって欲しい。
<p>その他</p>	<p>それぞれの項目で、現在のお子さんの様子を記入しましょう。どこまでできるかを見取って書くことが大切です。また、周りの方がどのような対応をしているかも、記入しましょう。</p>	<p>お子さんにできるようになって欲しいこと、このようになって欲しいという願いを記入しましょう。</p>

☆ 対人関係



✦ 生活のリズム（乳児期）

<平日>

午前

午後

2

4

6

8

10

12

2

4

6

8

10

12

			起床	朝食・登所	家庭・保育所			テレビ	夕飯・お風呂	睡眠	
--	--	--	----	-------	--------	--	--	-----	--------	----	--

<休日>

午前

午後

2

4

6

8

10

12

2

4

6

8

10

12

			起床	朝食	遊び		お昼寝	外出	夕飯・お風呂	睡眠	
--	--	--	----	----	----	--	-----	----	--------	----	--

☆医療的関わり

医療機関・診療科
ひまわり医院 内科 ○○

☆支援機関

○ ○園
○○センター

家庭・保育所や病院以外で、支援してくれる機関名と担当者名を記入しましょう。



興味・関心のあるもの・こと（遊びなど）

砂遊び
音あそび






支援するときに配慮してほしいこと

言葉で意思表示が十分にできないので、様子を見守り、声を掛けて欲しい。
指示はゆっくり話し、理解できたかどうかその後の行動をみてほしい。

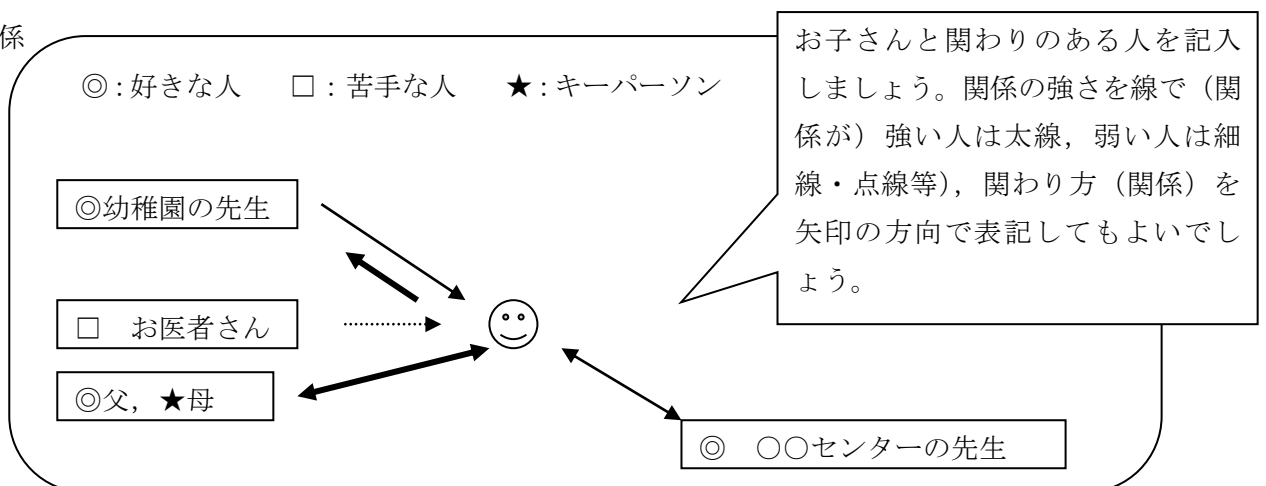
乳児期の記録

年齢または日付	記 録	有効な手立て ○ 失敗した手立て △
○ヶ月	あやすと笑うようになった	○たて抱きやうつ伏せを心がけた
○ヶ月	首がすわった	△寝かせてばかりではない方が 良い
○ヶ月	喃語（アー,アー）が良く出る	○ご機嫌の良いときに話しかけ たり,真似をすると,良く返してくる
<p>【記 録】 お子さんの成長の様子や変化などを書きましょう。特に、できるようになったこと、よく取り組むことができたことなど、プラスの情報を積極的に書きましょう。</p> <p>【手立て】 そのときの有効な手立て（○）、失敗した手立て（△）等が分かれば書きましょう。</p>		

	現在の状況	保護者としての願い
<p>生活習慣 身近自立</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンを使って食べられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンやフォークでこぼさずに食べられるようになって欲しい。
<p>運動面の発達</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・走るの上手。スーパー等でも走りまわっている。 ・高いところが好きで登っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーで走り回らないで欲しい。 ・高いところに登らないで欲しい。
<p>ことばや対人関係の発達</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・両手の平を出して「ちょうだい」の動作ができる。 ・欲しいものがある時は手を引っ張ってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ちょうだい」が言えるようになって欲しい。 ・欲しいものを指差しできるようになって欲しい。
<p>その他</p>	<p>それぞれの項目で、現在のお子さんの様子を記入しましょう。どこまでできるかを見取って書くことが大切です。また、周りの方がどのような対応をしているかも、記入しましょう。</p>	<p>お子さんにできるようになって欲しいこと、このようになって欲しいという願いを記入しましょう。</p>



対人関係



✦ 生活のリズム（幼児期）

<平日>

午前

午後

2 4 6 8 10 12 2 4 6 8 10 12

			朝食・準備・登園	幼稚園			おやつ	テレビ	夕食・お風呂	睡眠	
--	--	--	----------	-----	--	--	-----	-----	--------	----	--

<休日>

午前

午後

2 4 6 8 10 12 2 4 6 8 10 12

			朝食・準備	テレビ	外遊び	昼食	買い物・おやつ	テレビ	夕食・お風呂	睡眠	
--	--	--	-------	-----	-----	----	---------	-----	--------	----	--

☆医療的関わり

医療機関・診療科

〇〇大学附属病院・小児科 〇〇先生

☆支援機関

〇〇大学〇〇研究室

学校や病院以外で、支援してくれる機関名と担当者名を記入しましょう。

😊 興味・関心のあるもの・こと（遊びなど）

- ・ お絵かき
- ・ キッズコンピューター
- ・ アンパンマン
- ・ ポケモン

♡ 支援するときに配慮してほしいこと

- ・ 前以て行動の予告をしてあげると、スムーズに次の行動に移れます。
- ・ 自分のやり方でやろうとしているときに、手出しをするとパニックになるので、最後まで見守ってください。

細かなことでも支援の参考になりますので具体的に記入しましょう。（例えば、パニックになる前兆や体調が悪い時の様子、不安定になる音・物・言葉かけ・接触等）。

幼児期の記録

年齢または日付	記 録	有効な手立て ○ 失敗した手立て △
○歳○ヶ月	「ちょうだい」と言ったら、自分の持っていたものをくれた。	○毎日の生活の中で、行動に伴い常に言葉で知らせるようになってきた。
○歳○ヶ月	「ちょうだいは？」と言ったら、両手で“ちょうだい”のサインをした。	○「頂戴」と言いながら“ちょうだい”サインをやって見せた。 △何回もやらせようとしたらやらなくなる時期があった。
<p>【記 録】お子さんの成長の様子や変化などを書きましょう。特に、できるようになったこと、よく取り組むことができたことなど、プラスの情報を積極的に書きましょう。</p> <p>【手立て】そのときの有効な手立て（○）、失敗した手立て（△）等が分かれば書きましょう。</p>		

個別の教育支援計画（幼児期用）

ふりがな 氏名			
長期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就学にむけた生活習慣 ・身辺自立の向上 	半年後，1年後くらいを目安に目標をたてます。特に来年度に環境の変化がある場合（入園・就学）には，環境の変化に向けた目標をたてます。	
項目	保護者の願い	支援目標	機 関
生活習慣・身辺自立	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークやスプーンを上手に持って，食べられるようになってほしい。 ・尿意を感じたら，自分でトイレに行って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・握りもちから，鉛筆もちにかえていく。 ・ボタンをはめられるようになる。 ・おしっこでる？の質問に答えられる。 	家庭・〇〇保育所（園）・療育機関・〇〇幼稚園
運動面	<ul style="list-style-type: none"> ・階段の昇降が上手になってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手すり，あるいは壁を伝って階段の昇降ができるようになる。 	家庭・〇〇保育所（園）・療育機関・〇〇幼稚園
ことばや対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的に話すだけでなく，簡単な質問に答えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵カードや絵本で，何？誰？なにしているの？などの質問に答えられるようになる。 	家庭・〇〇保育所（園）・療育機関・〇〇幼稚園
その他			

「保護者の願い」をもとに，お子さんの現在の状況を確認した上で出来るだけ具体的な目標を立てましょう。

1つの目標に対して，複数機関で関わることもあります。

幼稚園・認定子ども園 保育所 (園) 名			〇〇保育園
支援内容と支援計画について			
	支援内容・手立て	評価	機関・担当
教育・保育	<ul style="list-style-type: none"> ・食事時に、握りもちのときは鉛筆もちに変えるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆もちにもち変えて、さして食べることができるようになった。 	家庭・〇〇保育園
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 支援目標を達成するための具体的な内容と手だてを記入します。一つの目標に対して、支援・手立てが複数になることもあります。 </div>			
保健・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・微細面の向上をはかる課題を設定する(ペグさし,せんたくばさみ,ビーズ) ・だれ?何もってる?などの質問を投げかける。質問を聞かずに勝手に話し始めてしまった場合には、流してしまわずに再度質問する。再質問で答えられない場合には、“〇〇だね”と、正答を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・だれ?の質問に答える事が出来るようになった。また、質問をすると、自分の話を止めて聞く事が出来るようになった。 	療育機関
医療			
その他			
<引継事項>			
作成日 年 月 日【新規・更新(回)】			
園(所)名			
作成担当			

内容を承認できた場合、保護者は署名、捺印します。

私は以上の内容を了解し、確認しました。

年 月 日 氏名 印



小学校期

フェイスシート

記入日 年 月 日

生活習慣
身辺自立



社会性の発達
(ことばや対人関係)

学習面の発達



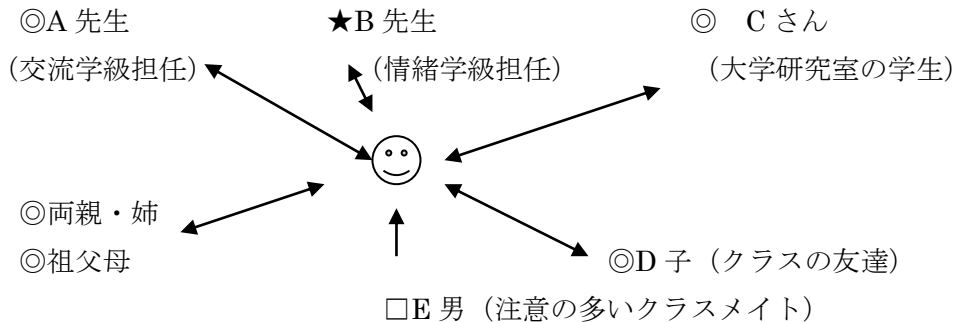
そのほかのこと
(運動面など)

現在の状況	保護者としての願い
<ul style="list-style-type: none"> 一人でトイレに行けるが、夢中になっていることがあると、お漏らしをしてしまうことがある。(月1回ぐらい) 	<ul style="list-style-type: none"> 一人でトイレに行き、お漏らしをしないようになって欲しい。
<p>お子さんに出来るようになって欲しいこと、このようになって欲しいという願いを記入しましょう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 室内では比較的落ち着いている。外での活動の時に、走り回ったり、興味のあるところに勝手に行ってしまったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 騒いだり、自分勝手な行動をしたりせず、集団での行動が落ち着いて出来るようになって欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 平仮名の読みは半分程度、書きは数語程度までできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名の読み書きが、正確にできるようにになって欲しい。
<p>それぞれの項目で、現在のお子さんの様子を記入しましょう。どこまでできているか書くことが大切です。また、周りの方がどのような対応をしているかも、記入しましょう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 自分の思い通りにならなくても、パニックをおこさないようになってほしい。 	

対人関係

◎;好きな人 □;苦手な人 ★;キーパーソン

お子さんとかかわりのある人を記入しましょう。関係の強さを線で(関係が強い人は太線, 弱い人は細線・点線等), 関わり方を矢印の方向で表記しましょう。



小学校期の記録

年齢または日付	記 録	有効な手立て ○ 失敗した手立て △
小1 (4/7)	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式では,大声を出したり,離席をしたりせず参加することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○支援員が隣に付き添い,声掛けやスキンシップをしていた。 △一斉指示だけで,個別の声かけをしなかった。
小1 (4/9)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中にお漏らしをした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○支援員の先生が見守っていたので,危険はなかった。
小1 (5/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足では,興味のあるところに一人で行ってしまい,集団から離れることが多かった。 	
~~~~~		
小2 (5/10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足では,集団からほとんど離れることなく,グループでの行動ができた。</li> </ul>	
<p><b>【記 録】</b> お子さんの成長の様子や変化などを書きましょう。特に,できるようになったこと,よく取り組むことができたことなど,プラスの情報を積極的に書きましょう。</p> <p><b>【手立て】</b> そのときの有効な手立て(○),失敗した手立て(△)等が分かれば書きましょう。</p>		

個別の教育支援計画（小学校期用）

ふりがな 氏名			
長期目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団の中で、落ち着いた生活を送れるようにする。</li> <li>・ 大人が付いていなくても、一人でできる行動を増やす。</li> </ul>		現在の発達上の課題を踏まえて、1年後くらいをめやすに目標を立てましょう。
項目	保護者の願い	支援目標	機関
生活習慣・身辺自立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人でトイレに行き、お漏らしをしないようになってほしい。</li> </ul> <p>フェイスシートの「保護者としての願い」をもとに記入します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 声掛けや賞賛、ごほうび等により、休み時間に自分からトイレに行く習慣を身につける。</li> </ul> <p>「保護者の願い」をもとに、お子さんの現在の状況を確認した上で出来るだけ具体的な目標を立てましょう。</p>	<p>〇〇小学校</p> <p>1つの目標に対して、複数機関で関わることもあります。</p>
社会性（ことばや対人関係）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 騒いだり、自分勝手な行動をしたりせず、集団での行動が落ち着いてできるようになってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多動を抑える薬を服用することで、落ち着いた集団生活を送れるようにする。</li> </ul>	〇〇大学付属病院
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひらがなの読み書きが、正確に出来るようになってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意欲的に取り組めるような教材や学習方法を工夫して、ひらがなの読み書きをマスターできるようにする。</li> </ul>	〇〇小学校
その他のこと（運動面など）			



学校名 ○○市立○○小学校			
支援内容と支援計画について			
	支援内容・手立て	評価	機関・担当
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休み時間ごとに声掛けをして、一緒にトイレに行く。→声掛けだけをすする。→自発的な行動を見守る。というように、徐々に支援を減らしていく。一人でトイレに行けて失敗しなかったら、賞賛とシールのごほうびを与える。</li> <li>・ 平仮名の読み書き練習は、カードやなぞりのシートを用いて、好きなキャラクターと結びつけるなどして楽しみながら取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好きなキャラクターのシールを楽しみ、自分からトイレに行くようになった。</li> <li>・ 平仮名の読みは9割、書きは6割程度できるようになった。</li> </ul>	○ ○小学校 担任 □□
保健・福祉	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">           支援目標を達成するための具体的な内容と手だてを記入します。1つの目標に対して、支援・手だてが複数になることもあります。         </div>		
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多動を抑える薬を処方する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬の効果がみられ、離席やパニックになる回数が減ってきた。</li> </ul>	○ ○大学附属病院 担当 □□
その他			
<引継事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大好きなキャラクター(アンパンマン・ポケモンを教材やごほうびに用いると、意欲的に活動する事が出来る。</li> <li>・ 事前の予告や声かけを十分行うことで、パニックはほとんど起きない。</li> </ul>			
作成日                      年    月    日 【新規・更新（回）】  <div style="text-align: center;">           学校名             作成担当         </div>			

私は以上の内容を了解し、確認しました。

内容を承認できた場合、保護者は署名、捺印します。

年    月    日                      氏名                                      印

中学校期

記入日 年 月 日

生活習慣  
身辺自立



社会性の発達

学習面の発達



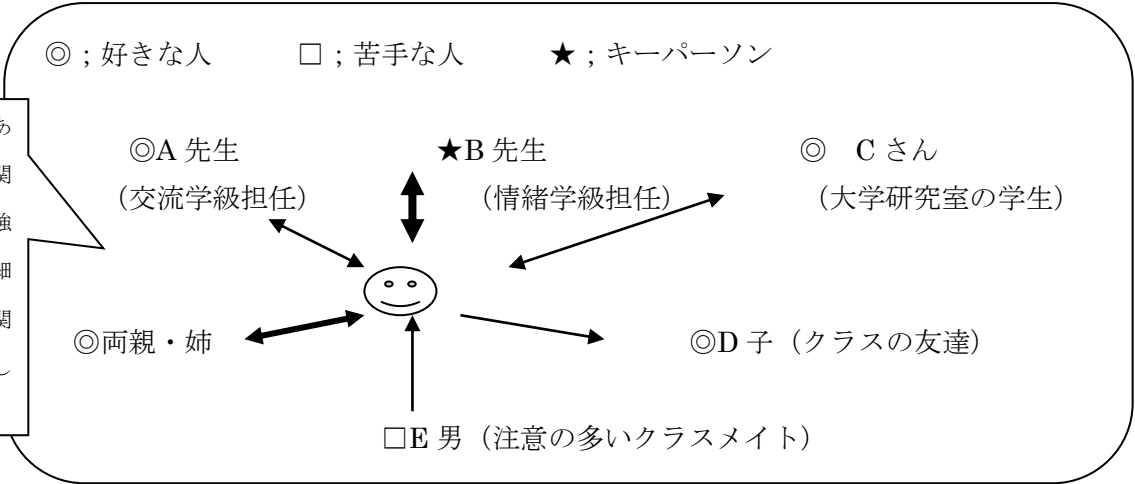
その他のこと

現在の状況	保護者としての願い
<ul style="list-style-type: none"> <li>外出するよりゲームなどをして室内にすることが多い。</li> <li>嘔まずに丸飲みすることが多い、間食も多い。</li> <li>プリントは渡してくれるが、なくしてしまうものもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かすのが嫌いで、肥満気味なので予防したい。</li> <li>連絡や配布物をしっかりと教えて欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>服用を始めて安定してきた。しかし、薬を飲みたがらない事がある。</li> <li>小学校時代に友達にいじめられたことを突然思い出し、パニックになることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パニックを減らして、安定した気持ちで過ごして欲しい。</li> </ul>
<p>それぞれの項目で、現在のお子さんの様子を記入しましょう。どこまでできているかを記入しましょう。どこまでできているかを見取って書くことが大切です。また、周りの方がどのような対応をしているかも、記入しましょう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>欲しいものが持っているお金で買えるかどうか分かり、買い物をする事ができる。しかし、お小遣いをあげると、一気に全部使ってしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欲しい物の順番を考えて、計画的にお金を使って欲しい。</li> </ul>

お子さんにできるようになって欲しいこと、このようになって欲しいという願いを記入しましょう。

☆ 対人関係

お子さんとかかわりのある人を記入しましょう。関係の強さを線で（関係が強い人は太線、弱い人は細線・点線等）、関わり方（関係）を矢印の方向で表記しましょう。



✦ 生活のリズム（中学校期）

<平日>

午前

午後

2

4

6

8

10

12

2

4

6

8

10

12

			朝食・準備	登校	学校				部活動	部活動・帰宅	夕飯・お風呂	学習	睡眠
--	--	--	-------	----	----	--	--	--	-----	--------	--------	----	----

<休日>

午前

午後

2

4

6

8

10

12

2

4

6

8

10

12

			朝食・準備	テレビ	外出		昼食	買い物	テレビ	夕食	お風呂	学習	睡眠
--	--	--	-------	-----	----	--	----	-----	-----	----	-----	----	----

☆医療的関わり

医療機関・診療科

〇〇大学病院      D先生

□□医院（内科）      E先生

☆支援機関

〇〇療育センター    〇〇児童相談所

学校や病院以外で、支援してくれる機関名と担当者名を記入しましょう。

😊 興味・関心のあるもの・こと（遊びなど）

恐竜

宇宙

マーク類

♡ 支援するときに配慮してほしいこと

後ろから突然声をかけられると固まってしまうので、顔を見せてから声をかけてほしい。

初めての場所だと入るのに戸惑ってしまうので、事前に場所の写真を教えてください。

細かなことでも支援の参考になりますので具体的に記入しましょう。（例えば、パニックになる前兆や体調が悪い時の様子、不安定になる音・物・言葉かけ・接触等）。

中学校期の記録

年齢または日付	記 録	有効な手立て ○ 失敗した手立て △
中 1 ( 4 / 9 )	・入学式翌日から,不安がらずに登校できた。	○入学式終了後,親がきっかけを作り友達と登校する約束をあらかじめ取っておいた。
中 1 ( 5 / 1 0 )	・友達とのかかわりの中で,パニック状態になったが,1 時間別室で過ごすことができた。	△友達からきつい言葉で指示された。 ○担任と相談し,落ち着ける場所を決めておいた。落ち着くまで過ごし,その後気持ちを整理できた。
中 1 ( 5 / 1 5 )	・委員活動で,体育倉庫の整理をきちんと行い,先輩や先生にほめられ,自信がついたようだ。	
<p>【記 録】お子さんの成長の様子や変化などを書きましょう。特に,できるようになったこと,よく取り組むことができたことなど,プラスの情報を積極的に書きましょう。</p> <p>【手立て】そのときの有効な手立て (○), 失敗した手立て (△) 等が分かれば書きましょう。</p>		

個別の教育支援計画（中学校期用）

ふりがな 氏名	現在の発達上の課題を踏まえて、1年後くらいをめやすに目標を立てます。		
長期目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な体を動かす機会を自分からつくることができる。</li> <li>バランスのとれた食生活がおくれる。</li> <li>自己表現力を伸ばすことで感情のコントロール力を伸ばし、情緒の安定を図る。</li> </ul>		
項目	保護者の願い	支援目標	機関
生活習慣・身辺自立	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かすことが苦手で、肥満気味なので、予防させたい。</li> </ul> フェイスシートの「保護者としての願い」をもとに記入します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事指導を受け、体重を○kgまで落とす。</li> <li>体育の授業は休まないで参加する。</li> </ul>	○○病院○○科  ○○中学校  1つの目標に対して、複数機関で関わることもあります。
社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>パニックを減らして、情緒を安定させたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いらいらしたときは、違う部屋で過ごすことを自分で判断できるようにする。</li> </ul> 「保護者の願い」をもとに、お子さんの現在の状況を確認した上で出来るだけ具体的な目標を立てましょう。	○○療育センター ○○中学校 情緒障害学級 ○○大学 ○○研究室
学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>1時間単位の授業時間中、集中して取り組めるようにさせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の手順を細かに提示し、見通しや目標が持てるようにする。</li> </ul>	○○中学校
その他			

学校名 ○○市立○○中学校			
支援内容と支援計画について			
	支援内容・手立て	評価	機関・担当
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>抵抗を少なくするため、体育の授業の部分参加から始め、次第に目標を高くしながら達成感が持てるようにする。部分参加は見学。30分参加から始める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>種目に関係なく部分参加ができるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○○中学校 担任・体育担当者</li> </ul>
保健・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>間食を減らすため、本人と相談してルールを決める。袋ごと食べず果物を食べるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールは意識できたが、まだ食べる量は変わらない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○○保健センター栄養士</li> </ul>
支援目標を達成するための具体的な内容と手だてを記入します。1つの目標にたいして、支援・手立てが複数になることもあります。			
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬物投与によりパニックを抑える。パニックの状況を説明でき、その要因を自分で整理できる。</li> <li>一人になることを選べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パニックの状況は落ち着くと整理できるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○○病院担当○○医師</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく○○教室に通う。(週1回 土曜日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休むこともあるが続けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○○スポーツセンター</li> <li>○○先生</li> </ul>
＜引継事項＞			
作成日 年 月 日【新規・更新(回)】			
学校名			
作成担当			

内容を承認できた場合、保護者は署名、捺印します。

私は以上の内容を了解し、確認しました。

年 月 日

氏名

印

高等学校期

記入日 年 月 日

生活習慣

社会参加

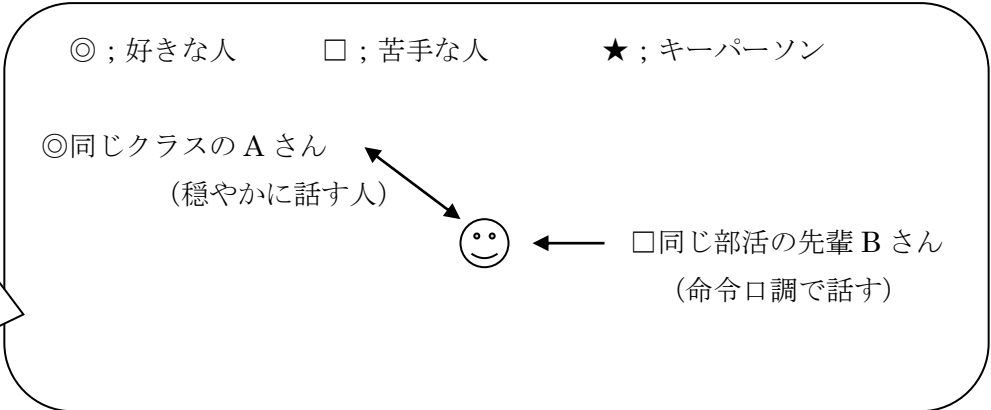
知的活動

進路  
(就職等)

現在の状況	保護者・本人の願い
<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則を守って生活することができる。</li> <li>・他の人が規則を守らないときに、厳しく注意をして、喧嘩になる事がある。</li> </ul>	(保護者) <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則に対して、こだわりをもっている。</li> <li>・嫌なものは嫌(人に対しても)というところがあるが、だんだんに周りの人にわかってもらえるようにしたい。</li> </ul>
保護者や本人の願いを、誰の願いなのか区別して記入しましょう。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲良くなった一人の友人と少しの会話はする。(うなずいたりすることが多い。)</li> </ul>	(本人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのことが苦手。</li> <li>・人とのコミュニケーションが取りにくいので、ぎこちなくても少しずつつけこみたい。</li> <li>・やらないのではなく、出来ないと理解して欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強を頑張ったので、よい点がとれた。</li> </ul>	(本人) <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科が得意なのでよい点数がとれるように努力したい。</li> <li>・パソコンを使った授業では、上手に打てるように努力したい。</li> </ul>
それぞれの項目で、現在のお子さん・自分の様子を記入しましょう。どこまでできているかを書くことがたいせつです。また、周りの方がどのような対応をしているかも、記入しましょう。	

☆ 対人関係

お子さんとかかわりのある人を記入しましょう。関係の強さを線で(関係が強い人は太線、弱い人は細線・点線等)、関わり方(関係)を矢印の方向で表記しましょう。



✦ 生活のリズム（高等学校期）

<平日>

午前

午後

2 4 6 8 10 12 2 4 6 8 10 12

		起床	朝食 スクールバス乗車	授業	給食	授業	下校 スクールバス降車	帰宅	夕食	入浴	団らん	就寝	
--	--	----	----------------	----	----	----	----------------	----	----	----	-----	----	--

<休日>

午前

午後

2 4 6 8 10 12 2 4 6 8 10 12

			起床 散歩	朝食 清掃	日中一時支援利用	昼食	余暇		夕食	入浴	団らん	就寝	
--	--	--	----------	----------	----------	----	----	--	----	----	-----	----	--

☆医療的関わり

医療機関・診療科

〇〇大学病院      D 先生

□□医院（内科）      E 先生

☆支援機関

・NPO 法人      週1回日中一時支援利用

・民間療育機関      月一回利用

学校や病院以外で、支援してくれる機関名と担当者名を記入しましょう。

😊 興味・関心のあるもの・こと（遊びなど）

- ・ 一輪車
- ・ ゲーム
- ・ クイズ

♡ 支援するときに配慮してほしいこと

ことばだけの指示では理解が難しい場合があるので、できれば視覚的なヒントを与えてほしい。

細かなことでも支援の参考になりますので具体的に記入しましょう。（例えば、パニックになる前兆や体調が悪い時の様子、不安定になる音・物・言葉かけ・接触等）。



高等学校期の記録

年齢または日付	記 録	有効な手立て ○ 失敗した手立て △
〇〇. 5. 1	<p>・一人、気の合う友達ができ たようで、よく話に出てくる ようになった。3年間クラス が一緒なのでたくさんの友 人を作ってほしい。</p>	<p>○グループ活動で仕事をさせる機 会をふやしてあげてほしい。(面 談のときに、先生にお願いす る)</p>
<p><b>【記 録】</b> お子さんの成長の様子や変化などを書き ましょう。特に、できるようになったこと、よく取 り組むことができたことなど、プラスの情報を積極 的に書きましょう。</p> <p><b>【手立て】</b> そのときの有効な手立て (○), 失敗した 手立て (△) 等が分かれば書きましょう。</p>		
〇〇. 9. 6	<p>・クラスの中で友人が増えて きたようだ。クラスマッチ で友達を応援する姿がみ られた。</p>	<p>○卓球にペアーで出るように先生 が勧めてくれた。2人で練習する ことが多くなった。</p>



就労（体験）の記録

期 間	場 所	内容・感想など
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		

個別の教育支援計画（高等学校期用）

ふりがな 氏 名		〇〇〇〇（生徒名）	
長期目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>得意な分野や趣味を広げ、自己肯定感を高める。</li> <li>他者を受け入れ、認め合える人間関係を築くことができる。</li> </ul>		現在の発達上および生活上の課題をふまえて、1年後くらいを目安に目標を立てます。
項目	本人・保護者の願い	支援目標	機 関
生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>パニックやこだわりを少なくしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>変化や規則を受け入れる態度をそだてる</li> </ul>	〇〇高等学校
社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会で守るべきマナーを身につけてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人のいうことをさえぎったりじゃましたりせず、最後まで聞いたり見たりできるような態度を育てる。</li> </ul>	〇〇高等学校
知的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>1つのことをじっくりやり遂げようとする強い心をもってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的集中できる得意教科やパソコンに関して、知識や技能を伸ばせるようにする。</li> </ul>	〇 〇高等学校 パソコン教室
進路・就職等	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職したら、お互いの違いを認めあえる人間関係を築いてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友人と協力して仕事を進める態度を育てる。</li> </ul>	〇〇高等学校
		<p>「保護者の願い」をもとに、お子さんの現在の状況を確認した上でできるだけ具体的に目標を立てましょう。</p>	

学校名 ○○高等学校			
支援内容と支援計画について			
	支援内容・手立て	評価	機関・担当
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>変化は前もって知らせる。変化に対応できた場面を認め、本人に評価を返す。予告なしでも変化に対応できるようなステップを追った支援する。</li> <li>苦手と感じる人や物事に対して、攻撃的にならずに解消するためのスキル学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>変化に対応できた体験が多くなり、対応力の広がりが増えつつきている。</li> <li>ケースによっていろいろな解消法があることが分かり、自分に合った方法を見つけることが出来た。</li> </ul>	○ ○ 高 等 学 校 担任□□ 養護教諭 ◇◇
保健・福祉	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">           支援目標を達成するための具体的な内容と手立てを記入します。1つの目標にたいして、支援・手立てが複数になることもあります。         </div>		
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人がカウンセリング（月1回）に通い、自分の抱える悩みを継続的に相談できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊張せずにカウンセラーと気軽に会話できるようになった。</li> </ul>	○○大学付属病院 担当カウンセラー■ ■
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場体験の機会を利用し、得意な分野を通して人と関わる体験を増やす。</li> <li>休日に趣味の時間を作れるように支援する。</li> <li>パソコン教室などで情報技術を伸ばせるように支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回パソコン教室に通い始め、意欲を出してきている。</li> </ul>	
<引継事項> <ul style="list-style-type: none"> <li>○○大学病院でのカウンセリングは、本人も継続を希望している。</li> <li>パニックを起こす頻度は少なくなり、適応力が伸びてきている。</li> </ul>			
作成日                      年      月      日 【新規・更新（回）】  <div style="text-align: center;">           学校名             作成担当         </div>			

私は以上の内容を了解し、確認しました。

年      月      日

氏名

印

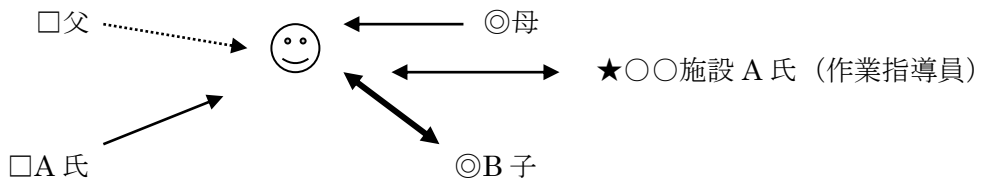
	現在の状況	本人の願い・保護者の願い
生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣は安定的に身につけている。時々、衣服の整理がルーズになったり、次の行動に移るまでに時間がかかるので、声かけをして行動ができるように促している。</li> </ul>	（保護者・母） <ul style="list-style-type: none"> <li>身近面では、ひと通り自分で出来るが、動作が雑になってしまうので、特に身だしなみや掃除の習慣はしっかり身につけて欲しい。</li> </ul>
社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と仲良くすることが出来るようになり、相手を思いやる姿も見られるようになった。その反面マイペースを崩さない所もある。基本的には、温厚で柔和な性格。</li> </ul>	（保護者・母） <ul style="list-style-type: none"> <li>自分から人に接することが苦手なために、自分の殻に閉じこもる傾向がある。しかし、人と交流したい気持ちは強いので、いろんな人と関わりを持って欲しい。</li> </ul>
知的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>分からない時はしっかり言葉で質問する。太鼓演奏やダンスを覚えて、出来るようになることが嬉しい様子がみられる。上達することで自分自身にも自信がついてきた様子が見られる。</li> </ul>	（保護者・母） <ul style="list-style-type: none"> <li>言語でのコミュニケーションは取れるが、うまく言葉で表現出来ない面があるため、ストレスが溜まりやすい。好きな太鼓やダンス等で自分を表現して欲しい。</li> </ul>
進路 （就職等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>体を動かすことが苦手なので、作業の持続力が乏しい。本人が行う作業を決め、作業を終わらせたものを見てわかるようにし、達成感を持たせるようにしている。</li> </ul>	（本人） <ul style="list-style-type: none"> <li>施設に通園して就労訓練を受け、将来的には障害者雇用で一般企業に就職し、給料を貰いたい。</li> </ul>

本人や保護者の願いの欄は、誰の願いなのか区別して記入しましょう。

それぞれの項目で、現在のお子さん、自分の様子を記入しましょう。どこまでできているか書くことが大切です。また、周りの方がどのような対応をしているかも、記入しましょう。

★ 対人関係

◎ ; 好きな人    □ ; 苦手な人    ★ ; キーパーソン



お子さんとかかわりのある人を記入しましょう。関係の強さを線で（関係が強い人は太線、弱い人は細線・点線等）、関わり方（関係）を矢印の方向で表記しましょう。

✦ 生活のリズム（青年期～成人期【訓練・就労】）

<平日>

午前

午後

2

4

6

8

10

12

2

4

6

8

10

12

			6時起床	7時朝食	8時半通所	9時作業開始	昼食			4時降所	5時帰宅	7時夕食	8時半入浴	⑩時就寝	
--	--	--	------	------	-------	--------	----	--	--	------	------	------	-------	------	--

<休日>

午前

午後

2

4

6

8

10

12

2

4

6

8

10

12

			6時起床	7時朝食		昼食				7時夕食	8時半入浴	⑩時就寝	
--	--	--	------	------	--	----	--	--	--	------	-------	------	--

☆医療的関わり

医療機関・診療科

- ・〇〇厚生病院（精神科）定期通院中（月1回）

☆支援機関

- ・〇〇園（就労移行支援事業所）月～金
- ・市役所障害福祉課（担当 〇〇）
- ・就業・生活支援センター〇〇園 随時

病院以外で、支援してくれる機関名と担当者名を記入しましょう。



興味・関心のあるもの・こと（遊びなど）

和太鼓演奏  
創作ダンス



支援するときに配慮してほしいこと

- ・指示的な言葉をかけられると、行動が止まってしまったり、話を聞かなくなるので、本人の気持ちに耳を傾けながらの言葉かけをしてほしい。

細かなことでも支援の参考になりますので具体的に記入しましょう。（例えば、パニックになる前兆や体調が悪い時の様子、不安定になる音・物・言葉かけ・接触等）。

青年期～成人期の記録（訓練・就労）

年齢または日付	記録	有効な手立て ○ 失敗した手立て △
〇〇. 4. 23	周りの家族にくらべ、どうしてもそしゃくの回数が少なく、飲み込んでしまいます。	△隣の席の父親が注意したり、そしゃくの回数を示しても、うまくいかなかった。
〇〇. 8・8～8. 10	◆湖へ親の会の主催のキャンプへ行きました。初めての場所でしたが、あまり戸惑うこともなく分担された仕事をしてくれました。	○親しいことに対する不安を軽減するために、3ヶ月前から日時、目的地、日程などを教えて貼りだしておきました。本人ができる仕事を任せました。

【記録】お子さんの成長の様子や変化などを書きましょう。特に、できるようになったこと、よく取り組むことができたことなど、プラスの情報を積極的に書きましょう。

【手立て】そのときの有効な手立て（○）、失敗した手立て（△）等が分かれば書きましょう。

青年期～成人期の記録（訓練・就労）

年齢または日付	記録	有効な手立て ○ 失敗した手立て △
○年 3 月○日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○○高校卒業</li> </ul>	
○年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○○園通所開始 (就労移行支援訓練 1 年 6 ヶ月)</li> </ul>	
○年 5 月○日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掃除の仕方について、本人と一緒にマニュアルを作り、それに従いひとりでやるようにした。</li> </ul>	<p>△本人が見やすいように、1 枚の紙に手順をまとめて書いたら全く見なかった。</p>
○年 11 月○日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○○地区公民館まつりに参加し、太鼓演奏を披露した。</li> </ul>	<p>○紙芝居の方法で、1 枚ごとに 1 項目ずつ手順をかいたら、小さい達成感を多く味わえて、自ら取り組めた。</p>
○年 1 月○日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内での作業が安定してきたので、就業・支援センター○○園へ就労に向けての相談をする。</li> </ul>	

【記 録】お子さんの成長の様子や変化などを書きましょう。特に、できるようになったこと、よく取り組むことができたことなど、プラスの情報を積極的に書きましょう。

【手立て】そのときの有効な手立て（○）、失敗した手立て（△）等が分かれば書きましょう。





訓練・就労の記録

期 間	場 所	
○年 10 月 1 日～ ○年 10 月 12 日	茨城県立○○養護学校（校内実 習）	（内容）菓子用化粧箱の中敷き折り， パイプの袋詰め
○年 1 1 月 1 日～ ○年 1 1 月 3 0 日	○○スーパー	（内容）商品の陳列
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日～ 年 月 日		
年 月 日 年 月 日		
年 月 日 年 月 日		

個別の支援計画（青年期～成人期【訓練・就労】）

ふりがな 氏名			
長期目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した生活を送り，一般企業で働きたい。</li> </ul>		
項目	本人・保護者の願い	支援目標	機 関
生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみ，掃除をしつかり身につけたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみを整える。</li> <li>・決められたルールに従って部屋の掃除をする。</li> </ul>	〇〇園
社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な人とかかわりをもちたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人との交流する機会を作る。</li> </ul>	〇〇園
知的活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな太鼓やダンス等で自分を表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓やダンスを練習し，発表する機会を持つ。</li> </ul>	〇〇サークル
進路・就職等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労訓練を受けた後，障がい者雇用で一般企業に就職したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労移行支援を利用する。</li> <li>・訓練の中で，継続して作業に取り組めるよう決められた量の作業を時間内に終わらせる。</li> <li>・一般就労に向けて相談する。</li> </ul>	<p>〇〇園 就労・生活支援センター◇◇園</p>

利用する福祉サービスに合わせた期間内で，支援目標を決めてもよいでしょう。本人の願いと状況を踏まえて，目標を設定します。

1つの目標に対して，複数機関で関わることもあります。



問い合わせ先

No.	機関名	電話番号
1	龍ヶ崎市障がい児通所支援事業所つぼみ園	0297-62-1775
2	龍ヶ崎市健康増進課（保健センター）	0297-64-1039
3	龍ヶ崎市教育委員会指導課（教育センター）	0297-62-9192 教育センター
4	龍ヶ崎市こども福祉課（家庭児童相談室）	0297-64-1111 （内線 287）
5	龍ヶ崎市社会福祉課	0297-64-1111 （内線 269）
6	龍ヶ崎市立八原保育所	0297-62-1663

# サポートファイル

平成22年11月 初 版

平成31年 1月 改訂版

龍ヶ崎市役所社会福祉課つぼみ園

龍ヶ崎市障がい児療育指導連絡協議会